

4-1 イノベーションの創出

- 「ジャパン・イノベーション・ブリッジ (J-Bridge)」や「Tech Osaka Summit」など、海外スタートアップ企業等と日本企業とのオープンイノベーション促進に向けた取組も進んでいます。
- 関西には、イノベーションの担い手である企業が1,346社も集積しており、スタートアップ・エコシステム構築を目指した産学官一体の動きが盛んです。 ※ 2022年12月時点。近畿経済産業局「関西ベンチャー企業リスト」より

様々なスタートアップ関連サポート

スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市 「大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム」

<https://www.starecokansai.com/>



大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアムは2020年7月14日、内閣府が進める「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」の「グローバル拠点都市」として選定され、2025年6月に第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市における「グローバル拠点都市」に選定されました。京阪神の強みである「バイオ・ライフサイエンス」「グリーンテック」「デジタル」の3領域を中心に、世界で活躍するスタートアップを輩出。関西の高い国際認知度を活かし、海外からもプレーヤーが参入するグローバルなエコシステム拠点の形成をめざしています。

Kansai Startup Mashups

京阪神スタートアップエコシステム



J-Startup KANSAI ~スタートアップ支援プログラム「J-Startup」関西版~

<https://www.kansai.meti.go.jp/3-3shinki/Startup/J-Startup/startup-kansai.html>

関西発のロールモデルとなる有望なスタートアップを選定し、地域ぐるみで起業家を応援・支援する仕組みを構築します。公的機関と民間企業が連携して集中的に支援することで、企業の飛躍的な成長をサポートします。

選定企業数 62社 (2026年5月現在)

J-Startup KANSAI



JBRIDGE

主催 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)

URL <https://www.jetro.go.jp/j-bridge/>

概要

日本企業と海外企業の国際的なオープンイノベーション創出のためのビジネスプラットフォームです。海外企業とのアライアンス(業務提携・技術提携・出資・合弁事業設立等)やM&Aにより、ビジネス開発や新規事業創出等を目指す日本企業、大学、研究機関などのみなさまをサポートします。



J-GoodTech

主催 独立行政法人中小企業基盤整備機構

URL <https://jgoodtech.smri.go.jp/pub/ja/>

概要

日本の中小企業と国内大手企業・海外企業を繋ぐビジネスマッチングサイトです。新たな取引先や顧客の獲得、共同開発先の探索、新市場・海外への販路開拓等を行うことができます。また、特設コーナーでは、輸出・海外展開分野でのマッチング、スタートアップ分野でのマッチング、SDGs・カーボンニュートラル分野や大阪万博に関連したマッチング支援を行っています。



関西の大企業がスタートアップとの協業を歓迎

関西経済同友会は、宣言に賛同した企業・団体が窓口を公表し、ベンチャー企業から相談があれば適宜アドバイスや技術・販路に関する紹介をするなど、ベンチャー企業に親身な対応を行うことを宣言するものです。

「関西ベンチャーフレンドリー宣言」

<https://www.kansaidoyukai.or.jp/event/>



4-1 関西で開催される主なビジネスマッチング・ピッチイベント

Tech Osaka Summit

主催

Tech Osaka Summit実行委員会
(大阪市、公益財団法人大阪産業局、一般社団法人うめきた未来イノベーション機構、公益財団法人都市活力研究所、日本貿易振興機構(JETRO)大阪本部)

概要

大阪・関西発スタートアップが世界に飛躍するための機会を創出するとともに、大阪・関西のスタートアップ・エコシステム形成の加速化を図るため、国内外の多様なプレイヤー(スタートアップ、事業会社、投資家、大学・研究機関、金融機関、行政機関等)を呼び込み、エコシステムのブランディング強化や国際的な存在感の向上、スタートアップの成長につながる効果的かつインパクトのあるイベントを実施。(年1回開催)

Tech Osaka Summit



<https://www.innovation-osaka.jp/tech-osaka-summit/>

IVS2026 KYOTO

主催

IVS KYOTO実行委員会
(Headline Japan / 京都府 / 京都市)

概要

国内外の起業家・投資家等が一堂に会し、直接交渉による投資・協業先・人材等の獲得や、各分野の最新動向の把握と多様な人材の交流を契機とした新ビジネス創出を促進する、国内最大規模の国際スタートアップ・カンファレンスです。



<https://www.ivs.events/ja>

KGAP+
(Keihanna Global Acceleration Program Plus)

主催

株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)

概要

国内外のスタートアップ企業を対象とする3カ月間の支援プログラム。国内外のイノベーション機関(パートナー機関)から推薦されたスタートアップが参加し、製品・サービスの実証等の協業先探索に取り組みます(年2回開催)。累計参加数29カ国・地域253社、マッチング成立67%、参加者満足度4.4/5。日本市場展開のみならず、日本国外への進出の足掛かりをつくる短期特別プログラムもパートナー機関がホストとなり実施。



<https://www.kgap.jp/>

Global Startup EXPO 2026

主催

Global Startup EXPO 2026実行委員会
(大阪府・大阪市・京都府・京都市・兵庫県・神戸市・公益社団法人関西経済連合会・大阪商工会議所・一般社団法人関西経済同友会・公益財団法人大阪産業局・関西イノベーションイニシアティブ(公益財団法人都市活力研究所))

概要

Global Startup EXPOは、「社会実装」を軸に、国内外のディープテック・スタートアップを世界に発信し、世界のスタートアップ・エコシステムが交差する「世界を代表するディープテックの国際イベント」です。世界各国からスタートアップ、企業、投資家、研究者、行政が大阪に集い、技術・資本・市場を結びつけることで、実証から事業化、そして産業化へとつなげていきます。ディープテックを、世界と共に、産業へ。その起点を、日本・大阪関西からつくります。



GLOBAL
STARTUP
EXPO2026

<https://global-startup-expo.com/>

4-2 ライフサイエンス・バイオテクノロジー イノベーション

- 古くから薬の町であったことから、多くの製薬会社の本社、外資系企業、医療機器メーカー等が集積・連携しています。
- 京都・大阪・神戸を中心にライフサイエンス・バイオものづくり関連機関が集積しています。
- iPS細胞など世界をリードする研究や、実用化・産業化に向けた取組が活発に行われています。

世界をリードする産学の集積、充実したライフサイエンス・バイオものづくり分野のプラットフォーム

○バイオものづくり分野

遺伝子技術を活用して微生物や細胞から物質を生産する技術で、社会課題解決に寄与するものとして期待されています。

■バイオコミュニティ関西 (BiocK)

関西を拠点にバイオ分野における究極のエコシステム構築を目指します。



○再生医療分野

京都大学iPS細胞研究所(CiRA)、大阪大学や神戸大学をはじめとする各拠点で、世界をリードする再生医療に関する研究、産業化に向けた取組が行われています。



京都大学iPS細胞研究所(CiRA)

■未来医療国際拠点

Nakanoshima Qross

再生医療をはじめとする最先端の未来医療を早期に実用化・産業化ステージへ移行すべく、医療機関と企業、スタートアップ、支援機関等が一つ屋根の下に集積。

Nakanoshima Qross



■関西再生医療産業

コンソーシアム(KRIC)

再生医療の実現加速化に向けた企業間連携を支援しています。



○医療機器分野

医療関連の大学・研究機関が多数集積し、多様な分野のものづくり技術力を持つ中小企業も多く有しています。

■関西医療機器産業支援ネットワーク (KMSN)

関西の17の産業支援機関で、企業の医療機器産業への新規参入や医療機器開発を支援しています。



多くの製薬会社の本社が集積

	住友ファーマ
	塩野義製薬
	田辺ファーマ
	武田薬品工業
	小野薬品工業株式会社
	扶桑薬品工業株式会社
	参天製薬

研究開発拠点・中核機関の集積

医薬品医療機器総合機構(PMDA)関西支部
日本医療研究開発機構(AMED)西日本統括部
京都大学iPS細胞研究所
彩都ライフサイエンスパーク
神戸医療産業都市
理化学研究所

医療機器メーカー集積

	ニプロ
	オムロン
	島津製作所
	シスメックス

多くの外資系企業も関西に進出

	アストラゼネカ
	日本イーライリリー
	バイエル薬品
	ICON

4-3 グリーン・イノベーション(水素等)

- 関西には、港湾部における重厚長大企業をはじめとする、ものづくり企業が集積し、水素等の需要・供給のポテンシャルが高い地域です。
- 関西の様々な企業が自社のコア技術を生かし水素関連分野の技術開発を行い、実証事業を全国に先駆け数多く実施しています。

カーボンニュートラルに取り組む関西の港湾エリア



関西各地で進む水素等の社会実装に向けたプロジェクト

■ 世界初となる水素製造から発電利用まで一貫実証可能な設備が稼働

○三菱重工業(株)兵庫県高砂市
水素発電の早期商用化に向け、開発・設計・製造・実証拠点を置く高砂製作所内に水素製造から発電にわたる技術を世界で初めて一貫して検証できる「高砂水素パーク」を整備し、水素製造および大型実証設備での水素発電試験を実施中。



■ 国際液化水素サプライチェーンモデルの実証

○川崎重工業(株)×岩谷産業(株) 兵庫県神戸市
技術研究組合CO₂フリー水素サプライチェーン推進機構(HySTRA)は、世界初の液化水素運搬船「すいそふろんていあ」を用いて、オーストラリアから日本へ褐炭由来を含む液化水素を輸送し、液化水素荷役ターミナル「Hy touch神戸」(神戸市)で荷揚げする技術実証が成功。



■ 国内初の商業用液化水素製造プラント

○(株)ハイドロエッジ 大阪府堺市
2006年より国内初の商業用液化水素製造プラントとして営業運転を開始し国内の液化水素安定供給に寄与。2020年に増強工事を実施し、液化水素の年間製造能力は6000万m³と国内最大のプラントとなった。



■ 水素を活用したエネルギーソリューション「Panasonic HX」の実証

○パナソニック エレクトリックワークス(株) 滋賀県草津市
純水素型燃料電池94台(約495kW)と太陽電池(約570kW)を組み合わせた自家発電設備とリチウムイオン蓄電池(約1.1MWh)に独自のエネルギーマネジメントシステムを組み合わせて、燃料電池工場で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーで賄うことを目指した水素エネルギーソリューション「Panasonic HX」の実証施設「Panasonic HX Kusatsu」を2022年4月15日より稼働。



■ 関西水素関連企業データブック

関西に拠点をもち、水素関連分野に果敢に挑戦する企業を紹介するデータブックをご用意しております。
https://www.kansai.meti.go.jp/5-lshiene/smart_energy_initiative/hydrogen_data/japanese/r7_h2data.jp.overall.pdf

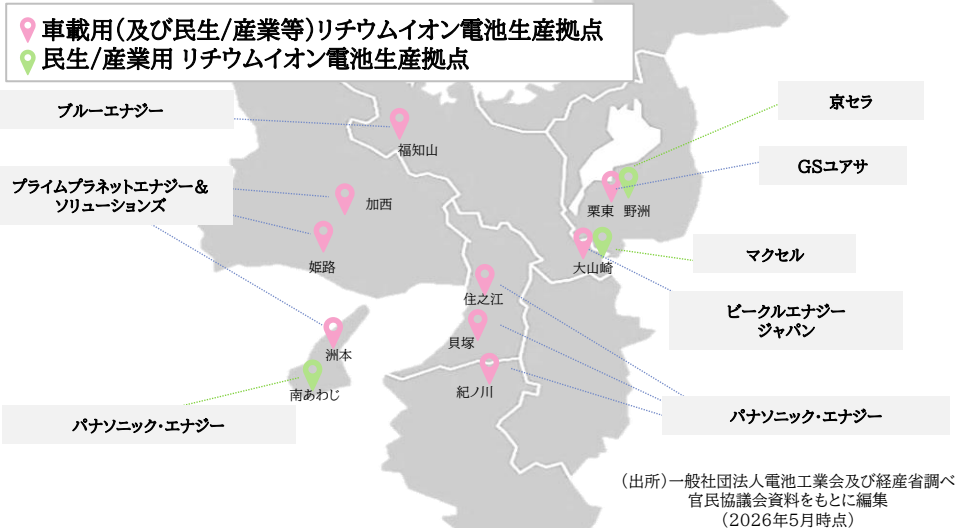
(冊子PDF)



4-4 グリーン・イノベーション(蓄電池)

- 関西はリチウムイオン電池やバナジウムを使ったレドックスフロー電池等、蓄電池関連産業の一大開発・生産拠点です。
- 電池メーカー、製造装置メーカー、部材サプライヤーが多く集積し、全国シェアの4割を超えます。

リチウムイオン電池の生産拠点が関西に集積！



次世代蓄電池に取り組む企業例

Panasonic



▲和歌山工場で生産予定

新型車載用リチウムイオン電池(4680)の生産設備を和歌山工場に設置し、量産準備が完了しました。

住友電工



長寿命で安全性が高い蓄電池「レドックスフロー電池」

再生可能エネルギーの導入を拡大していく上で必要となる系統の安定化、電力ピークシフトによる負荷平準化や電力レジリエンスの強化を実現する製品として期待が高まるレドックスフロー電池の開発・製造を行っています。

関西の蓄電池産業を支える評価・試験施設

研究段階から製品段階まで、蓄電池産業のあらゆるステージに対応できる評価・試験施設が揃っています。



技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター



▲試作設備、評価設備を備える



企業のリチウムイオン電池用新材料開発を支援するために、電池市場の動きに合った標準電池モデルを作り、材料評価法の作成及び評価解析を行っています。組合員は電池メーカーの他、材料化学や自動車等 40社が参画しています。



LIBTEC理事長 吉野 彰 博士(工学)

- ・2019年ノーベル化学賞受賞者
- ・京都大学、大阪大学の工学研究科出身
- ・旭化成(株) 名誉フェロー



National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構



世界最大規模の恒温型「大型蓄電池システム試験評価施設(NLAB)」コンテナサイズの蓄電池システムに対応

大阪市住之江区にあるNLABでは、リチウムイオン電池の試験時に発生する燃焼・爆発・有害ガスを安全に処理できるため、大型蓄電池システムの試験評価を天候に左右されず屋内で行うことができます。その他地震波、輸送振動、圧壊、落下等の各種試験も実施可能です。さらに、全固体電池などの次世代電池に対応した先端技術評価実験棟(NLAB MIDDLE Chamber)を新たに整備し、令和6年10月から試験サービスを開始しました。これにより、今後は自動車等での活用が期待される全固体電池の安全性試験の受入れも積極的に行っています。

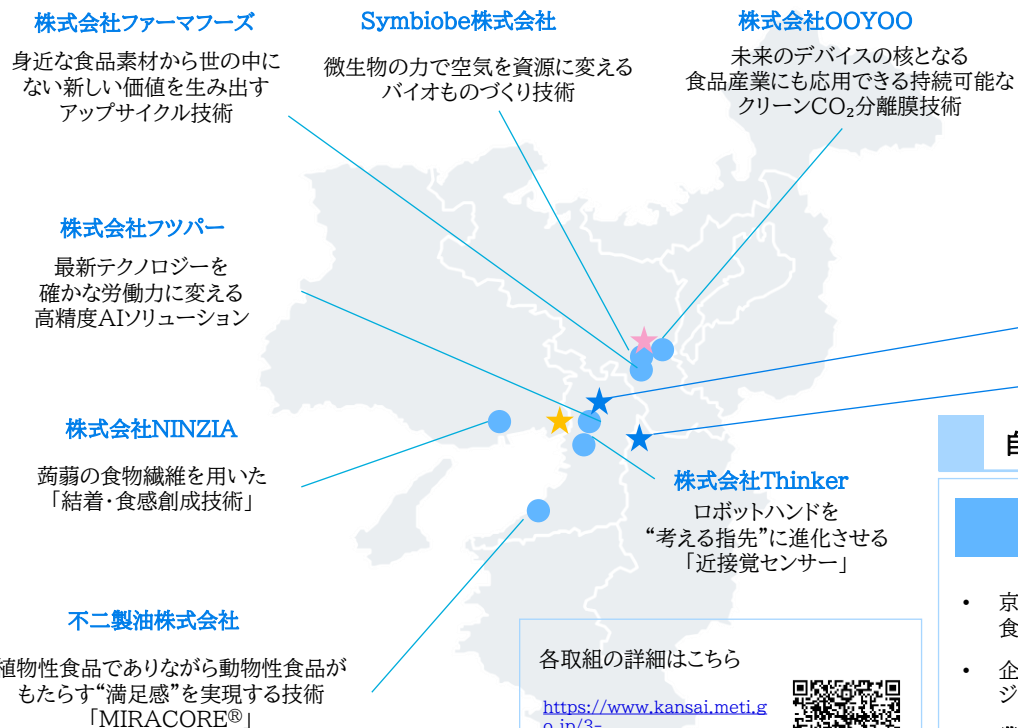
※NLAB: National LABoratory for advanced energy storage technologies
※MIDDLE :Multiple Innovation-Directive Development and Leading-edge Evaluation

4-5 フード・イノベーション(フードテック)

- 関西は、長年にわたり日本の中心として発展してきた歴史的背景から、豊かな食文化と食産業が育まれてきました。こうした土壌を基盤に、フードテック分野においても恵まれた環境が整っています。
- さらに、フードテック分野の発展に寄与するアカデミアや研究機関の存在、多様なプレイヤーや業界を超えたオープンイノベーションの動きも活発です。

優れた技術を持つ企業、先端技術を生み出すアカデミアの集積

関西では、食関連産業のサプライチェーンが集積する中、高度なフードテック技術を有する企業・スタートアップも多く活躍しています。先端技術を生み出す優れた大学や研究機関が集積し、これら先端技術を活用した食品業界への応用も進んでいます。



各取組の詳細はこちら

https://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/INVEST_support_info/2025invest/2025_jpn_foodtech.pdf



■ 企業主導のオープンイノベーション拠点

★ MILAB (フクシマガリレイ株式会社)

外部パートナーと共創する食のオープンイノベーション拠点。さまざまな厨房設備やスタートアップとのインキュベーション機能を備え、イベント共催や新たな技術・アイデア創出を推進しています。



★ KYOLABS (株式会社島津製作所)

ヘルスケア領域の共創拠点。研究領域には「食を支える技術」も含まれ、分析機器を活用して外部パートナーと協働し、革新的な製品開発と社会課題の解決を推進しています。



■ 産学連携事例

大阪大学大学院 工学研究科 松崎研究室 「培養肉未来創造コンソーシアム」

奈良先端科学技術大学院大学研究・イノベーション機構 発酵科学研究室(高木研究室) 「酵母を活用した商品開発」

自治体が開催するフードテック展示会

京都フードテックエキスポ (京都府)

- 京都の伝統的な食文化や食材と、最先端のテクノロジーを融合させることで、食関連産業の課題解決や振興を目指す展示・交流会。
- 企業・大学等による技術・サービスの展示、セミナー、スタートアップピッチ、ビジネスマッチングなどを実施。
- 農林水産業の生産から加工、流通・販売までの関係者が集い、研究シーズと消費者ニーズを結び、新商品・サービスの創出など社会実装の実現を目指します。

